

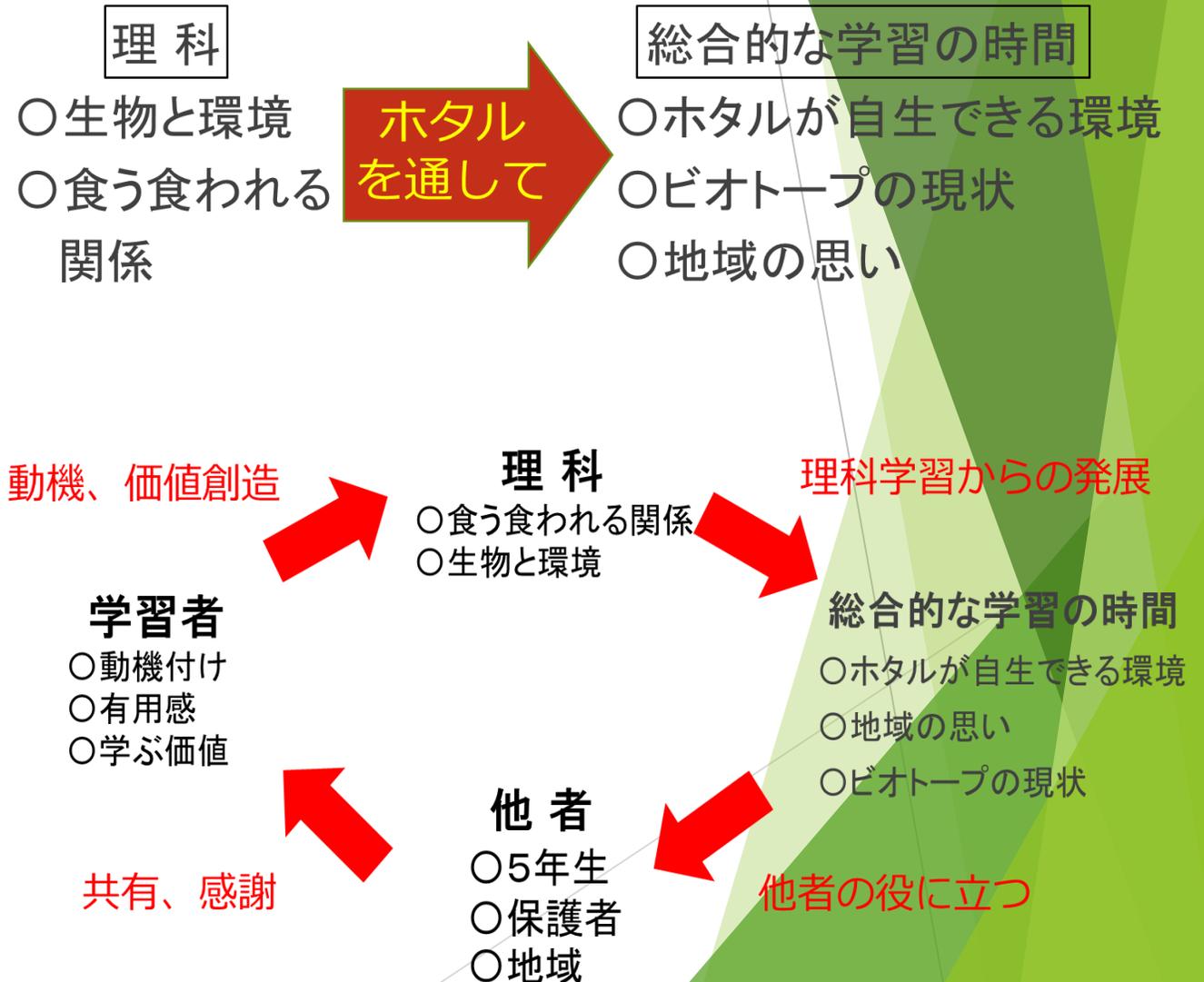
理科の学びを活かし、 学ぶ意欲を高める探究学習の実践

- ① 事業の目的
- ② 開発した指導法
- ③ 児童・生徒の変容の分析と評価
- ④ 成果のまとめと今後の展望
- ⑤ 実績報告

① 事業の目的

理科の問題解決から生まれる
新たな問いから、児童自らが
創り出す探究学習

理科の学習が他者のため
につ実感をもち、学ぶ価値
を創造する探究学習



② 開発した指導法

(1) 理科の学習から始まる探究学習

理科で出た疑問から、
児童自ら探究課題を設定

理科で学んだ科学的に
問題解決する力をもとに

(2) 「ゆだねる指導」の焦点化

児童の自己選択・自己決定

一人一台端末 クラウド 黒板
学習に必要な道具 思考方法 等

(3) 「ふりかえり」の重視

学びのプロセスを共有

メタ認知の促進
次の学習への動機付け

③ 児童・生徒の変容の分析と評価

(アンケート調査結果の分析・児童のふりかえりより)

- **理科好きの児童が増えた**
- 理科を学ぶ意味や価値に気づき、意欲を高めた
- 学習したことが人のために役立つという実感を持てた
- ゆだねる指導により主体的に学習に取り組み、意欲の向上が見られた
- ふりかえりにより、他者の考えも生かして学ぶ姿が増えた

④ 成果のまとめと今後の展望

●成果のまとめ

- 自然環境との関わり方を多面的に考える探究学習を通して、児童は地域のよさを感じ、自ら社会に参画する態度が育った。
- 理科の学習が他者のために役立てることができるという実感を持ち、学ぶ価値を創造することができた。

●今後の展望

「より深い学びへとつながる探究学習にむけて」

(教師)

- 非認知能力を適切にアセスメントする工夫
- 協調性や対話力を測る指標の導入

(児童)

- 子ども自身が成長を実感できる仕組み作り
- 主体的に学び続ける力の育成

⑤ 実績報告

(1) 実施対象児童

第6学年 2クラス 合計56名

(2) 実施授業

授業	時期	内 容
1回目	6月	○ ホタルについての情報を集めよう(総合)
2回目	9月	生物どうしのつながり(理科) → ○ ホタルが育つ環境を調べよう(総合)
3回目	10月	○ 東田辺キッズマートと地球環境
4回目	11月	自然とともに生きる(理科) → ○ ホタルが育つ環境にしよう(総合)
5回目	1月	○ つなげようホタルへの思い(総合)

(3) 実施した研修・研究活動

月 日	内 容
7月24日	○ ICT実技研修会の実施
8月27日	○ 校内実践交流会
8月29日	○ ICT実技研修会の実施
9月11日	○ 授業デザイン検討会の実施
9月25日	○ 校内授業研究会(野原博人教授・文部科学省伴走支援者による指導助言)
10月22日	○ 校内理科授業研究会の実施
12月19日	○ 成果報告内容検討会
1月12日	○ 成果報告会にて児童2名が発表(東京学芸大学)
2月17日	○ 校内授業研究会(野原博人教授による指導助言)
2月20日	○ 学習発表会